

好評髪質改善レポート

話題のパーマでガンコなく せ毛が直った



ヘアand**ビューティ**
SPRING 1991

くせでゴワつく髪、傷みやすくてブローもできない髪、“どうしようもない”とあきらめていませんか？ 髪を傷めず、まとめやすくするパーマが最近注目されています。髪を充分ケアしながらヘルシーに縮毛を改善するパーマや、地肌から根本的に改善するパーマなど、最新の髪質改善パーマ情報をお届けします。

撮影／武藤誠、山崎勉 ヘア&メイク／上田美江子 (MASA) スタイリスト／糸畑笑貴子 取材・文／矢野直子

●傷みがちなくせ毛もハリのある直毛に

4 スチームに入ります。田畑さんは伸びにくいネコ毛、じつくり約1時間入ってもらいます。



5 スチームのあと、くせ毛を伸ばすブロー。ここが仕上がりの状態を決める重要ポイント。



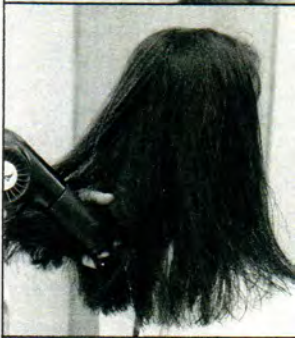
6 まっすぐになった髪に第2液を塗り、直毛を固定します。塗布後5〜6分放置します。



7 シャンプーで液を洗い流します。水は、アルカリ寄りの髪を中和する酸性水を使用。



8 最後のブローは、ざっと乾かすだけ。これ以後、ブローなしでも髪はまっすぐになります。



9 くせが伸びたので、ぼわっとしたセミロングがしなやかなロングになり、髪もつややかに。



1 シャンプーの前にきめ細かいカウンスリング。その人の髪質にあった方法を決定します。



2 洗髪後ブロー。ストレートパーマをかけたはずの北条さん、頭部にくせが戻っています。



3 たんぱく質の原液を塗り、髪全体にしたるほどたっぷりつけ、ブローで乾かします。



4 十数種の成分を混合した第1液を根元から毛先へ、コーミングしながらつけていきます。



5 スチームで成分を充分毛髪に浸透させます。北条さんもかきにくいタイプ。まず20分。



6 いったんスチームから出て、傷んだ毛先に濃縮たんぱく質を塗り、さらに30分入ります。



7 洗い流してくせ毛を伸ばすブロー。サイドのくせ毛は伸びにくいのでヘアアイロンで。



8 第2液を塗りつけた状態。毛先の空洞にもたんぱく質がゆき渡り、しっとりとしています。



9 最後のブロー。髪が重い気がするが北条さん。毛髪にしっかり養分が入ったからです。



BEFORE

北条理枝子さん

「自分でさわってみて、髪にコシが戻っていてビックリ。傷みがちだった自分の髪とは思えなかったくらい」と北条さん。しっとり落ちついたストレートヘアに。



北条理枝子さん(24歳・01)は、くせ毛のポリウムをおさえるために、乾燥気味で傷みやすい髪とは知りながら、年に2〜3回ストレートパーマをかけていました。その結果、「枝毛がとてふえてしまつて」と北条さん。

オーナーの内野さんからも「毛髪の毛先が空洞になってます。これじゃ枝毛、切れ毛はあたり前」と診断されて大ショック。内野さんは毛先に特製トリートメントを塗りつけて処置。ハリの健康なストレートに変身(写真左)。

ここが聞きたい ドクターストレートQ&A

Q 従来のストレートパーマ
とどこが違うのですか

A 「ドクターストレート」は、毛髪科学の研究会で開発されたパーマ液に、内野さんが、1年半の歳月をかけて独自のノウハウを加えて完成したまったく新しいストレートパーマ。とくにくせ毛は、どんなにガンコなものでもしっかり伸ばし、しかもそれが長期間持続します。

従来のストレートパーマは、バネルを使うので粘着力のある液を用います。そのため、髪に酸素がゆきわたらず、しかも長時間そのままでいるので、どうしても髪が傷みやすくなります。ドクターストレートは、バネルを

Q 何カ月ごとに
ければよいので
しょうか?

A ドクターストレートをかけた部分の毛髪は、半永久的にまつすぐです。

ふつうのストレートパーマと違い、一度かけたらくせがよみがえることはありません。ただ、髪は成長するので下から生えてきた部分には、くせが出てきます。だいたい半年に1回を目安にして、新たに伸びてきた部分だけを施術していくことをおすすめします。部分ドクターストレートは、2万円からです。もちろん、ストレートに飽きてしまったときは、そのままパーマウエーブをかければ、パーマヘアが普通に楽しめます。

Q くせ毛がどうし
てまつすぐにな
るのですか?

A まず、髪を構成しているシステインというたんばく質のつながりを、第1液の作用で切り離します。その後、ブローで髪をまつすぐに伸ばし、別のシステインと結合させて、その状態を第2液で固定させることで、髪はストレートになります。

この場合、第1液が髪の内部に充分入っていないと、くせ毛が伸びにくいので、浸透を深めるためにスチームに入るわけです。ちなみにくせが伸びにくい人は、髪の細い人。もともとシステインが少なく、液も浸透しにくいからです。髪が傷んでいる人も、空洞になっている毛髪に成分を詰め込まなければならず、この2つのタイプには、とくにじつくりスチームに入ってもらうことになります。

Q ドクターストレ
ートは、なぜ髪
を傷めないのですか

A パーマ液は、ほとんどのものがアルカリ性です。アルカリはたんばく質を膨潤させるので、髪の内部に液が浸透しやすくしてくれるからです。

ところが本来、人間の健康な毛髪のpHは、弱酸性。パーマ後もそのままアルカリが残ると、髪はどんどんたんばく質がこわれていつて傷んでゆきます。ドクターストレートの場合も、第1液に若干アルカリ液が含まれていますが、その後、第2液、酸性水、弱酸性シヤンプーによる洗髪と、3段階にわたって髪を酸性に戻す方法をとっているため、傷まないのです。特に酸性水で洗うというのは重要なポイント。アルカリで膨潤した髪を酸性水が引きしめ、ハリのある髪にするわけです。

美容室クレアトゥール内野

ヘアケアに力を入れている店。最近流行の「ヘアエステ」も内野さんが発案しただけあってメニューが豊富です。●ドクターストレート ¥30,000 ●住所/東京都渋谷区神宮前5-7-5 原宿コクーンビルB1 ● ☎03・3486・8182 ●営業/11時~20時・日曜定休 ●完全予約制



▲お話をうかがったクレアトゥール内野・オーナーの内野邦彦さん。「ドクターストレートのよさを正しく知ってほしい」とのこと。





Q 1回/3万円、ちょっと
勇気のいる値段ですね

A 1回のパーマ代と考えれば、確かに安い値段とはいえませんが、でも安くないぶん、決断していい加減なことではない、というこもいえるわけです。

このパーマは、普通のパーマをかけた場合の約10人分ぐらいのパーマ液を1人の人に使

用します。また、髪のために、目的に応じて使用する水を、軟水100%、酸性水、アルカリ水と使い分けており、水道水は使っていません。これらはヘアに対して必要不可欠なものです。ストレートが半永久的にもつことを考えれば、決して損はしないと思います。

Q 敏感肌なのですが、
かけても大丈夫ですか

A ドクターストレートを開発して以来、400人近い人を扱ってきましたが、今のところ、肌に関するトラブルは一件も起こっていません。

というのも、パーマ液は、髪に化学反応を与えるものですから、地肌をはずしてぬるのが常識。クレアトールではそれを徹底しています。ただ、とても強い縮毛の場合は、毛

根近くから液を浸透させる必要があるために、あらかじめ地肌をプロテクトする液を頭皮に塗布してから、パーマをかけます。でも地肌にトラブルがおこることはまずありません。

Q パーマ直後のヘアケアはどうしたらよいですか？

A まず、2〜3日髪が落ちつくまでゴムで結わえたりとめたりしないでください。また、固定液（第2液）のコーティングが過剰だと髪がきしむことがあります。1

週間くらいで直ります。シャンプー・リンスは、なるべく髪にマイルドな弱酸性、アミノ酸系を使うことをおすすめします。

また、このパーマに限らず、パーマをかけた後、くせ毛専用のヘアケア剤は使わないほうが無難でしょう。くせ毛用商品の中には、パーマと同様の成分が入っているものがあり、逆にウェーブがでたり、パーマがとれたりすることがあるからです。